



2/4
 [日] 声援を追い風に
 立春の半島を力走

第66回渥美半島駅伝競走大会が渥美半島を舞台に開催されました。これは5年ぶりに再開されたもので、女子は田原東部小、男子は赤羽根文化会館をスタートし、ゴールの豊橋南高校を目指しました。沿道から送られる声援を力に変えて、どの選手も軽快な走りを見せていました。

▲男女合わせて88チームが参加し、5区間でたすきをつなぎました

2/9
 [金] 菜の花でつなぐ
 未来の懸け橋

設楽町の園児19名を招き、サンテパークたはらや加治町の菜の花畑などで菜の花交流が実施されました。これは、平成14年に始まった行事で、園児に温暖な渥美半島で一足早い春を感じてもらい、豊川用水の上下流域の交流につなげています。

園児は菜の花畑の散策やイチゴ狩りなどを行い、楽しいひとときを過ごしていました。



▲菜の花畑で楽しく遊ぶ園児たち



▲多くの来店者でにぎわう渥美半島田原市フェアの様子

2/17
 [土] 自慢の一品が勢ぞろい!
 たはらブランドを東京でPR

首都圏小売販売会「渥美半島田原市フェア」が2月15日(木)から21日(水)の期間に、日本百貨店しょくひんかん(東京都千代田区)で開催されました。この事業は、本市の農畜水産物の加工品などの魅力を広め、販路拡大に取り組むだけでなく、首都圏のニーズを把握し、商品改善につなげることを目的としています。試食販売に参加した事業者たちは、商品の魅力について来店者に熱くPRしていました。